

令和4年6月13日

## 調査・研修報告書（議員用）

報告者：桂藤 和夫

実施場所：ワークピア広島（政活費・報酬・定数を考える現場のヒント）	実施日：令和4年6月6日
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b>  ※議長諮問により、議会で近く特別委員会を立ち上げ、定数・報酬のあり方について議論をすることになるため、参考にすべきものがあるのではないかと考え、参加した。  ・講師 高橋 伸介氏(元枚方市議会副議長)	
<b>■参考とすべき事項</b>  ○政務活動費について、趣旨の徹底的な理解と最大限活用するように努めたほうが良いと言われたこと。 ○政務活動費について、攻めは強いが守りに弱い議員の習性等があり、事件が止まらないが、政務活動費を後払いにすることにより、事件・事故が減少する。流れは定額支給から実費計算・事後精算になってくると言われたこと(先にもらうと全部使いたくなる)。 ○政務活動費は議員の政策提言・政策立案能力の向上(質問力)を図るための調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されているが、使途の拡大と増額を目指していくことも大切である。 ○報酬については議員の「仕事」が明確ではなく、報酬根拠も薄く批判にさらされやすい面があり、「懲罰」的に報酬・定数の削減が叫ばれる流れになってきているので、議会基本条例を基にしっかりとした理論武装が必要となるのではないかと言われたこと。 ○議員のなり手不足もあり、議員の年金も考えていく必要があるのではないかと言われたこと。	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b>  ◎これから立ち上げる特別委員会の委員として様々な観点から、しっかりとした議論をする中で結論を出していけば良いと思っている。	